

作成日 2025 年 7 月 1 日

「情報公開文書」

課題名：

破裂内頸動脈血豆状動脈瘤の治療成績；多施設共同後方視的登録研究

1. 研究の対象

2015 年 4 月 1 日～2025 年 3 月に、筑波大学附属病院および日本脳神経血管内治療学会）が認定する研修施設で くも膜下出血のため入院し、破裂内頸動脈血豆状動脈瘤と診断された方

2. 研究期間

研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

3. 情報の利用及び提供を開始する予定日

情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2025 年 7 月 1 日

4. 研究目的

本研究では、破裂内頸動脈血豆状動脈瘤の治療成績を調査し、その適切な方法や管理について明らかにすることを目的とします。

5. 研究方法

対象患者において診療のために収集した情報を用いて、破裂内頸動脈血豆状動脈瘤の治療成績、再破裂の有無や 3 ヶ月後の機能的自立に関連する因子などを探索します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

破裂内頸動脈血豆状動脈瘤・脳神経外科関連の診療にかかわる治療内容

7. 外部への情報の提供

なし

8. 外国にある者に対して情報の提供する場合

なし

9. 研究組織

筑波大学附属病院が主機関である多機関共同の観察研究
研究協力機関；日本脳神経血管内治療学会認定研修施設

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

筑波大学附属病院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は筑波大学附属病院脳卒中科の研究費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究において利益相反のある研究者がありますが、筑波大学附属病院において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

11. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者の所属・氏名：筑波大学附属病院 脳卒中科 細尾 久幸

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：029-853-3220（平日9～17時）

当院の研究責任者：名古屋徳洲会総合病院 脳神経外科 天野 貴之

連絡先：0568-51-8711